令和5年10月号 No.197

名古屋木材組合名古屋港木材産業協同組合

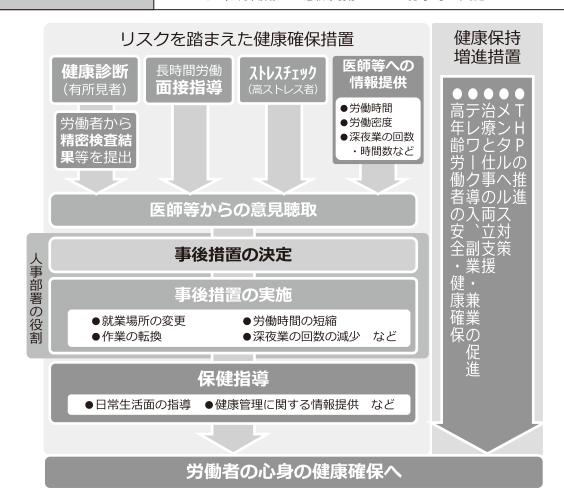
令和5年度第74回 全国労働衛生週間

スローガン 目指そうよ二刀流 こころとからだの健康職場 期 間 10月1日~10月7日

令和5年9月4日(月)午後2時から津島市文化会館小ホールにて「令和5年度 第74回全国労働衛生週間説明会」 が開催されました。

全国労働衛生週間中 に実施する事項

- ① 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
- ② 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
- ③ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
- ④ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定 した実地訓練等の実施
- ⑤ 労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、 その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施



"いま、木に本気" くらしに活かそう木の良さを

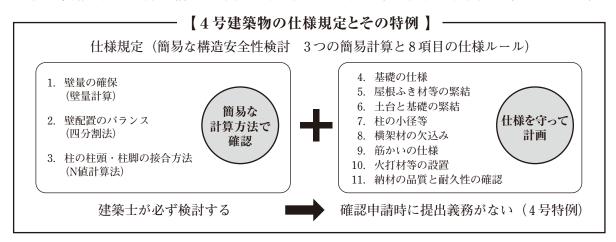
みちしるべ

4号特例縮小 木造2階建ては「新2号建築物」に!! 2025年4月より構造の審査省略が縮小

名古屋木材組合 - 組合長 西 - 垣 - 洋 - 一

4号特例縮小により構造関連書類の提出が必要に!!

2022年6月の「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」の公布により、今後、木造建築物に関連する法改正が順次施行されます。その中でも、2025年4月より、省エネ基準への適合義務化と併せて木造建築物を建築する場合の建築確認手続きが見直され、建築確認・検査及び審査省略制度(いわゆる4号特例制度)の対象範囲が変更となります。これまで木造2階建てや木造の平屋など建築基準法第6条1項に該当する小規模な木造建築物は「4号建築物」に区分され、構造関係規定(仕様規定)の書類を提出する必要がありませんでした(下図参照)。これが、2階以上もしくは200㎡を超える建築物については「2号建築物」として扱われ、全ての地域で建築確認・検査が必要となる他、審査省略制度が対象外となります。つまり、2025年4月以降は木造2階建てにおいても確認申請手続きの際に構造関係規定等や省エネに関連する図書の提出が必要となります。



4号特例縮小への対応とこれからの住宅のあり方

この4号特例の縮小に伴い、これまで省略できていた構造関連図書の作成が必要となるため、 工務店や設計・施工会社にとっては大きく業務負担が増えることになります。又、各図面間で の整合性がより重視されるため、構造関連図書以外の図面などを作成する時間も長くなる可能 性があり、それに伴う人員配置、システム整備等への対応が必要となります。

しかしながら、4号特例の縮小は住宅を建てる施主様側にとっては大きなメリットになります。瑕疵トラブルを未然に防ぎ、耐震性能を法律的に担保された住宅に住めるようになるため大きな安心につながります。今後もこうした建築物の安全性確保に向けた法改正の動きは進むと見られ、構造計算の重要性が更に高まることが想定されます。デザイン性やコストばかりを重視した住宅から性能や耐久性を重視した家づくりへとシフトする中、これからはより「量」から「質」、高性能高品質でロングライフな家づくりが求められます。

我々木材業界においても、木材需要の創造は新築等住宅(住宅・非住宅)とリフォームの推進が両輪です。住宅のあり方が変化していく昨今、業界としても「4号特例縮小」に限らず、こうした様々な国の施策・住宅法改正について1つ1つ対応していくことが必要不可欠です。

◆自遊ご圓見番◆

「新たな監督」

今年のプロ野球は、セ・パ両リーグとも関西の2球団が優勝し、夏の高校野球も107年ぶりに慶応義塾高校が優勝し甲子園は盛り上がりました。残念ながら東海エリアの出場校の成績はあまり芳しくなく、また地元の中日ドラゴンズも昨年に引き続き下位に低迷し、関西エリアと比べると東海エリアの野球熱は寂しい限りです。

今年の夏の甲子園で優勝した慶応高校野球部の森林氏は、経歴を調べましたら大学時代は選手ではなく学生コーチをされ、その後一旦社会人となったものの退社し、大学院を経て教員となられた監督です。選手には自身の技術的な指導ではなく、科学的データを基にしたきめ細かい指導をされているとの事です。精神論的な「俺が勝たせる」「監督自身が勝利に導いてやる」のような指導ではなく、選手に「任せ、信じ、待ち、許す」を指導の基本とし、全国制覇という実績も残した素晴らしい監督であると思います。

また、決勝の相手の仙台育英高校の野球部の須江監督も仙台育英高校出身ですが、現役時代、選手としてはレギュラーではありませんでした。昨年全国制覇し、連覇出来なかったにも関わらず、決勝戦の相手の勝者の慶応高校を大いに称え、今年は準優勝でしたが「人生は敗者復活戦である。負けたときこそ、人間の価値がある」と話されておりました。その振る舞いや言動には大いに感動しました。

中日ドラゴンズの来年度の監督に立浪監督の続投が決定しました。立浪監督はPL学園時代に春夏連覇をし、ドラフト1位で中日ドラゴンズに入団、名球会入りも果たしたいわゆる野球界のエリートです。名選手は指導者になっても自身の技術的な自負心により、自分のスタイルを曲げず、強制するような傾向があるように思います。

元中日ドラゴンズの落合監督は、選手として誰もが認める大打者でしたが、打撃指導はほとんどされなかったとの事です。なぜなら、選手一人一人体格も異なり、考え方、歩んできた経歴も異なり、一律に形を強制しても当てはまらないことを理解されていたからだと思います。

旧態依然のやり方が幅を利かし、新しい試みが進まないムラ社会的な側面が、スポーツ界や日本社会にはまだまだ残っています。実家が材木屋の森林氏や、現在活躍している若いスポーツ選手、新たな監督・指導者の考え方を、素直に受け入れ学び直すことは、木材業界の今後の新しい組織・人材の活性化のためにも大いに意義があるのではと思います。

木場すずめ

『火事からの復旧』

2020年2月1日早朝、自宅に2人の警察官が来た。

本人確認されている間、超高速で自分の行動をおさらいした。別に法に触れたことはしていないはず!?とりあえず冷静を装う。そして、会社が火事だと知らされた。ありえない! 製材所か? どこが火事? 現場から来てくれた少し焦げ臭い警察官の話からすぐに僕の工房だとわかった・・・って事は何か事件か? 現場で浮浪者でも死んでいたか? 何故わざわざ警察官が来る?? 簡単だった、消防署には自宅電話が登録してあるが、その自宅電話に応答がなく、警察が直接呼びに来てくれたのだった。

「どんな燃えかたよ!?」「全焼みたいです」。2人の警察官をその場に残し、急いで車で現場へ向かった。去り際に警官の1人が「運転には気を付けて」と言ってくれた。僕の顔は真っ青だったらしい。

工房は全焼。鉄骨はぐにゃぐにゃ。消火活動も終わっており、焼け残ったところも全部水浸し。幸い隣家には延焼してなかったが、建物、機械、材料、全滅だった。

警察官と消防隊員と発火原因を探したが、思いつくのは集塵機だけ。

2階は全部燃えていたが、1階で燃えた所は吹き抜け の階段と集塵機だけ。

確かに前日の作業で少し無理してプレーナーをしたが、 まさか火の粉が入っていたとは。

前日の作業後から通報まで約12時間だった。始めは小さな火種も次第に大きくなり、集塵袋へ引火、壁から2階へ延焼、床も壁も天井も木をふんだんに使っていたので大炎上。窓ガラスは飴のように溶け落ち、沢山あった電動工具やアルミ脚立は溶けて鋼板の溝にインゴットのように固まった。階段下に置いてあったタイヤも燃えてワイヤーだけになっていた。さぞ長い時間煙と炎が上がっていたはずだが、深夜の工場地帯はこんなに気づかれ難いのか・・・。

復旧まで3年かかりました。その間にコロナがあり、 資材の高騰や欠品。週に何回も工房に来て、僕を励ま してくれた機械屋のヤスダさんも亡くなりました。

しかし一方、心配だった飛島村ふれあい木工教室は、木産協広報委員会の協力で継続できており、より絆が深まりました。ここまで復旧できたのも、沢山の方からお見舞いや励ましの言葉、御協力を頂けたおかげだと感謝してます。

今は、火事前から準備していたDIY体験工房のオープンに向けラストスパートです。

時折途方に暮れますが、地球の未来は自分たちで 護るため、日々精進して参ります。

若話 広報委員:高橋孝治(材惣木材㈱)

世 が 広報委員:稲生富裕(資稲生製材)

株式会社 名古屋港木材会館 会議室のご案内

駐車場完備で様々な用途に必要な時間だけご利用いただける多目的レンタルスペ -スです。

会議はもちろん、研修、説明会、試験会場、面接会場などにもご利用いただけます。

会議室	面積 72㎡	収容人数	午前(9:00~12:00)	午後(13:00~16:00)
		40人	2,000円	2,000円

- ※注意事項 (1)会議室使用については会員又は会員の紹介に限ります。
 - (2) 土曜、日曜、祝祭日は休館日です。(年末年始・お盆はお問い合わせ下さい)
 - (3) 時間延長の場合は割増料金をいただきます。
 - (4) 備品等の持ち込みも事前にご連絡いただけば可能です。

お問合せ先・お申込先 愛知県海部郡飛島村木場1丁目74番地(名古屋港木材会館内) 名古屋港木材産業協同組合 TEL 0567-57-2017





令和6年 新年名刺交換会開催日のお知らせ

令和6年1月6日(土)17時~ 於 ホテルメルパルク名古屋 上記の通り予定しております。 ※ 詳細については、後日ご案内いたします。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

秋の安全なまちづくり県民運動の実施

10月11日から20日までの間は、秋の安全なまちづくり県民運動期間です。「犯罪にあわない」「犯罪を起こさせない」「犯罪を見逃さ ない」の3N(ない)のスローガンを掲げ、地域が一体となった県民総ぐるみ運動を展開し、県民の防犯意識の高揚を図り、犯罪の減少を 目指します。安全に安心して暮らせる社会をつくるには、「自分の身は自分で守る」「犯罪の起きにくい社会を自分たちの力でつくる」と いう気持ちが大切です。この運動の機会に、もう一度、自分の身のまわりの防犯について考え、ご家庭や地域で話し合ってみましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係

TEL.0567-95-0110

▶ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

ΜΙΥΔGΔW

电多宫川工機株式會社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53 TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956 URL https://www.miyagawakoki.co.jp/

発 行 **名古屋木材組合**

発行者 西垣洋一

〒 460 - 0017 名古屋市中区松原 2 - 18 - 10

TEL <052> 331 - 9386

FAX <052> 322 - 3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会



名古屋港木材産業協同組合 発 行

発行者 服部伸一

〒 490 - 1444 海部郡飛島村木場 1 - 74

TEL $\langle 0567 \rangle 57 - 2017$

 $FAX \langle 0567 \rangle 57 - 2018$

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会